

主な関連ゴール



重点戦略2：魅力ある働く場の創出

国内有数の産業都市として、自動車関連産業を中心に多くの事業所が立地していますが、既成市街地内にまとまった用地の確保が困難であるなど工業用地の不足の解消が課題となっています。また、市内の産業においては、今後、後継者不足や担い手不足などにより廃業などの増加が懸念されることから、事業承継や創業を支援に対する支援が求められます。することで魅力ある働く場の創出を進めます。

自動車関連産業を中心に発展してきた本市の特徴を踏まえつつ、より一層の産業振興を図るとともに、多様な人材の活用支援やキャリア教育、ライフ・ワーク・バランスの推進などによる働きやすい環境を整備します。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値	中間値 2027年	目標値 (めざす方向) 2032年
市内総生産	899,615 百万円 (2019年)	972,214 百万円	1,021,065 百万円
従業者数	49,764 人 (2020年)	51,000 人	52,000 人
シルバー人材センター延べ就労日数	62,060 日 (2021年)	63,000 日	64,000 日
「生活と仕事の調和」 (ライフ・ワーク・バランス)の支援に取り組んでいる事業所の割合	24.4% (2021年)	31.5%	36.0%

方向性1 産業の振興及び担い手の確保

南部の依佐美地区を始めとした新たな工業用地の創出を図るとともに、道路ネットワークの強化等のほか、市内での起業、魅力ある店舗の創業支援やスタートアップ、AI、IoTなど未来技術を活用した事業の創出に対する支援などの取組を行います。

また、今後想定される後継者不足や担い手不足に対応するため、事業承継に対する支援体制の強化などの取組を推進します。

【主な取組】

- ・ 新たな工業用地の創出
- ・ 道路・物流ネットワークの強化
- ・ 未来技術を活用した社会実験の実施
- ・ 創業者に対する支援

- ・ スタートアップ企業などとの連携によるイノベーションの創出
- ・ 事業承継に対する支援体制の強化

関連施策：111 計画的な土地利用／121 総合交通体系の構築／122 道路の整備・保全／311 工業の振興／312 商業の活性化／313 持続的な事業経営

方向性2 働きやすい環境の整備

女性や高齢者、障害者、外国人などが、希望に沿った仕事に就けるよう、関係機関や事業所と連携した就職セミナーや相談会を開催するとともに、仕事と家庭の両立ができる職場環境となるよう ~~ワーク~~ライフ・ワーク・バランスの普及啓発を推進します。

また、学校教育やその他の場面において、職業観を養うとともに社会の中で生きていくために不可欠な能力を育むなど、キャリア教育を推進します。

【主な取組】

- ・ 子どもの興味関心に合わせた課題などに応じた総合的な学習活動
- ・ 若年者の就職に対する意識醸成
- ・ 女性や高齢者、障害者、外国人などに対する就労支援
- ・ 女性活躍推進に取り組む事業者のPR

関連施策：211 教育内容の充実／311 工業の振興／312 商業の活性化／314 雇用・就労の安定確保／453 雇用・就労の促進／481 男女共同参画の推進／482 多文化共生の推進